

財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

法適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	流動負債	負債算入地方債 (退職手当債等)	流動資産	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
水道事業	H24	87,523	0	1,139,945	1,052,422	0	1,052,422	590,843	-
	H23	108,813	0	1,134,995	1,026,182	0	1,026,182	597,631	-
病院事業	H24	680,871	518,765	1,380,108	180,472	0	180,472	5,476,241	-
	H23	854,752	657,165	1,332,963	178,954	657,165	0	5,372,293	-

法非適用企業

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	小計 = + -	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
簡易水道事業	H24	1,068,132	0	1,153,182	85,050	0	85,050	483,779	-
	H23	1,136,504	0	1,210,578	74,074	0	74,074	494,333	-
集落排水事業	H24	372,581	0	384,648	12,067	0	12,067	87,378	-
	H23	510,971	0	522,413	11,442	0	11,442	87,318	-
公共下水道事業	H24	2,317,104	0	2,366,131	49,027	0	49,027	285,822	-
	H23	2,503,925	0	2,539,872	35,947	0	35,947	272,116	-
浄化槽整備事業	H24	186,943	0	215,714	28,771	0	28,771	32,317	-
	H23	180,125	0	192,086	11,961	0	11,961	28,607	-

法非適用企業(用地関係会計)

(単位：千円、%)

会計名称	年度	歳出	負債算入地方債 (退職手当債等)	歳入 (繰越財源控除)	土地収入見込額	地方債現在高	長期借入金	小計 = + - +(+ -)	解消可能 資金不足額	資金不足額 = -	事業規模	資金不足比率 /
工業用地造成事業	H24	195,832	0	198,402	700,395	1,130,926	0	0	0	0	1,130,926	-
	H23	185,620	0	188,225	700,409	1,311,854	0	0	0	0	1,311,854	-
宅地造成事業	H24	81	0	45,161	8,693	0	0	53,773	0	53,773	53,773	-
	H23	37	0	35,691	12,469	0	0	48,123	0	48,123	48,123	-

用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。

用地関係会計の小計は、+ - - がマイナスであれば、地方債現在高、長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。

用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。

資金不足がある場合は、正の数値で表記。(黒字の場合はマイナス表記)